

# 学生寮シンポジウム ～大学の戦略と教育可能性～ 報告書

学生寮シンポジウム  
～大学の戦略と教育可能性～  
報告書

開催日時：平成24年8月31日(金)13:00～16:00

開催場所：お茶の水女子大学 共通講義棟2号館201室

主催：お茶の水女子大学 学生支援センター

文部科学省 特別経費プロジェクト

『統合型学生支援システムの構築による女子高等教育機会の保証』

後援：独立行政法人 日本学生支援機構

お茶の水女子大学  
学生支援センター

## はじめに

この報告書は、お茶の水女子大学が、独立行政法人日本学生支援機構の後援を得て開催したシンポジウム「学生寮 大学の戦略と教育可能性」の報告書である。本学は文部科学省特別経費によるプロジェクト「統合型学生支援システムの構築による女子高等教育機会の保証」を進めているが、その一環としてこのシンポジウムを企画した。

私の時代はそうであったが、かつて学生寮とは、大学による、貧困学生に対する、決して上質とはいえない住居の提供であった。また同時に、大学にとって学生寮とは、学生運動の温床として、厳しい管理統制の対象でもあった。その学生寮が、個室主義の時代を経て、いま、再び転機を迎えているように見える。

学生寮の古典的意義は、学生に対する経済的支援であり、いまなお変わるところはない。寄宿寮と民間アパートの家賃との差額を考えれば、学生寮は、学生に対する非常に高額な経済的支援策のひとつであり続けている。これに加えて、学生寮は、大学にとって直接的、あるいは間接的な、戦略的意義を有するものとして位置づけられるようになってきた。直接的には学生募集戦略として。そしてもう1つ、間接的には、学生寮の持っている人間形成、就業力の向上、グローバル人材の育成上の意義への期待が非常に大きくなってきた。

なぜ学生寮の持つ人間形成機能への期待が再び大きなものとなってきたのか。それは自律性を持った大人へと学生たちを移行させる仕掛けを、大学が準備しなければならない必然性が大きなものとなってきたことの現れだろう。そういう仕掛けを大学が備えなければ、自律した社会人として学生たちを社会に送り出せない時代が到来したということでもある。だがそれは矛盾を惹起する。大学が学生寮の人間形成機能を高めようとするほど、学生の自律性を培うために、手取り足取り学生の指導に手を出す羽目に陥るからである。

本シンポジウムは、テーマが珍しいこともあって大きな反響を呼び起こした。参加した方々を見ると、日本全国の国立、私立、公立大学から、教員と職員の皆さんにお集まりいただいた。募集定員150人は瞬く間にいっぱいとなり、最終的には200人を超える方々の参加を得た。思わぬ反響だった。感謝を申し上げたい。

シンポジウムの内容はたいへん勉強になった。すぐにでも採用したい取り組み例やヒントを得させていただいた。その意味でも、学生寮の関係教職員が集い、情報を交換し、ノウハウを共有する機会やネットワークが形成できればと思った。

国立大学法人お茶の水女子大学  
理事・副学長 耳塚 寛明  
平成24年9月



## 目 次

はじめに	1
目次	3
プログラム	4
事例紹介資料	
『桜都寮』の四季 ～首都大学東京の学生支援～	5
西村 和夫 (首都大学東京 学生サポートセンター副センター長)	
今関 理恵 (首都大学東京 学生課長)	
「自主性・社会性を養う ～一年生中心の『教育寮』の実際～」	21
瀨上 知己 (京都産業大学 学生部課長 (寮務担当))	
井上 嘉規 (京都産業大学 学生部事務部長)	
「AP ハウスにおける実践的な取り組み/AP House における学生の学びとは？」	45
松本 淳 (立命館アジア太平洋大学 スチューデント・オフィス 課長補佐)	
力丸 晃也 (立命館学園 文学部教務職員)	
「お茶大 SCC の取り組み ～学生支援プログラムの実践と課題～」	69
桂 瑠以 (お茶の水女子大学 学生支援センター 講師)	
瀬田 すみ恵 (お茶大 SCC サポーター)	
フロアディスカッションでの質疑概要	86
課題と展望	90
参加者所属一覧	92
メディアへの掲載	95
付録：学生寮シンポジウムポスター	97

## 学生寮シンポジウム ～大学の戦略と教育可能性～

### プログラム

主催：お茶の水女子大学 学生支援センター  
文部科学省特別経費プロジェクト  
「統合型学生支援システムの構築による女子高等教育機会の保証」  
後援：独立行政法人 日本学生支援機構

日時：平成 24 年 8 月 31 日（金）13:00－16:00  
場所：お茶の水女子大学 共通講義棟 2 号館 201 室  
司会：望月 由起（お茶の水女子大学 学生支援センター准教授）

- 
- 12:30 開場
- 13:00－13:10 開会挨拶 羽入 佐和子（お茶の水女子大学 学長）
- 13:10－13:40 首都大学東京の取り組み事例  
『桜都寮』の四季 ～首都大学東京の学生支援～  
西村 和夫 氏（首都大学東京 学生サポートセンター副センター長）  
今関 理恵 氏（首都大学東京 学生課長）
- 13:40－14:10 京都産業大学の取り組み事例  
自主性・社会性を養う ～一年生中心の「教育寮」の実際～  
井上 嘉規 氏（京都産業大学 学生部事務部長）  
瀨上 知己 氏（京都産業大学 学生部課長（寮務担当））
- 14:10－14:40 立命館アジア太平洋大学の取り組み事例  
AP ハウスにおける実践的な取り組み /  
AP House における学生の学びとは？  
松本 淳 氏  
（立命館アジア太平洋大学 スチューデント・オフィス 課長補佐）  
力丸 晃也 氏（立命館大学 文学部教務職員）
- 14:40－15:10 お茶の水女子大学の取り組み事例  
お茶大 SCC の取り組み ～学生支援プログラムの実践と課題～  
桂 瑠以 氏（お茶の水女子大学 学生支援センター 講師）  
瀨田 すみ恵 氏（お茶の水女子大学 お茶大 SCC サポーター）

---

休憩 ディスカッションペーパーを回収させていただきます  
会場出入り口付近にコーヒーを用意しております

- 
- 15:20－15:55 フロアディスカッション  
ディスカッションペーパーの質問への回答
- 15:55－16:00 閉会挨拶 耳塚寛明（お茶の水女子大学 理事・副学長）

---

16:20－18:00 情報交換会（事前申込者のみ参加：本学学生食堂マルシェで開催）